

主催：(一社)日本建築学会九州支部

共催：(公社)日本建築家協会九州支部・沖縄支部 日本建築学会九州支部大分支所

2020年度第14回「建築九州賞(作品賞)」選考結果のお知らせ

(一社)日本建築学会九州支部 支部長 尾崎 明仁
建築九州賞(作品賞)選考部会 会長 福田 展淳

(一社)日本建築学会九州支部では、九州地方における建築水準の発展に寄与し、学会と地域社会の交流を図ることを目的に、(公社)日本建築家協会九州支部ならびに沖縄支部との共催で「建築九州賞(作品賞)」を2007年度に創設し、毎年募集・選考を行っています。

2020年度(第14回)は、各地から81作品(住宅部門40作品、一般建築部門41作品)の応募をいただき、本賞選考部会による厳正な審査の結果、次の5作品に賞を授与することに決定いたしました。表彰式は、日本建築学会九州支部通常総会(2021年5月29日(土))にて行います。

また、受賞作品を含む第1次選考を通過した作品のうち33作品を「九州建築選2020」として広く紹介することとし、本賞記録誌「九州建築選2020」を出版して九州地方の県市町村(建築関係部署)、公立図書館、学校(建築系学科)等、約650箇所へ寄贈します。

2020年度第14回「建築九州賞(作品賞)」受賞作品及び受賞者

住宅部門 作品賞

地の舎 (熊本県熊本市)

志垣孝行・井上遼太・中村安那 ((株)志垣デザイン店)

一般建築部門 作品賞

MARUHON FUKUOKA (福岡県福岡市)

香取武則(香取建築デザイン事務所)、志村美治((株)フィールドフォー・デザインオフィス)、
加藤拓((株)マルホン)

天草市庁舎 (熊本県天草市)

金内信二・田中渉(日建設計)

JIA 特別賞

蓑帽子の家 (大分県由布市)

小島健治(コージーリトル)

熊本城特別見学通路 (熊本県熊本市)

塚川譲・堀駿((株)日本設計)、若林和之((株)安藤ハザマ)

※同一賞内の記載順は、第2次選考会での発表順とした。

協 賛：(一社)日本建築構造技術者協会九州支部
(一社)福岡県建築士事務所協会(公社)福岡県建築士会
(一社)福岡県建設業協会

(公社)大分県建築士会

後 援：(公社)日本建築積算協会九州支部
(公社)熊本県建築士会
(公社)沖縄県建築士会
(一社)大分県建築士事務所協会
(一社)沖縄県建築士事務所協会
(一社)熊本県建設業協会
(一社)鹿児島県建設業協会
(一社)宮崎県電業協会(一社)建築設備技術者協会九州支部
(一社)宮崎県建築士会
(一社)長崎県建築士事務所協会
(一社)宮崎県建築士事務所協会
(一社)佐賀県建設業協会
(一社)大分県建設業協会
(一社)沖縄県建設業協会
(一社)宮崎県電業協会(一社)長崎県建築士会
(公社)鹿児島県建築士会
(一社)熊本県建築士事務所協会
(一社)鹿児島県建築士事務所協会
(一社)長崎県建設業協会
(一社)宮崎県建設業協会
(一社)沖縄県設備設計事務所協会

2020年度 第14回「建築九州賞(作品賞)」受賞作品の概要

住宅部門 作品賞

地の舎 志垣孝行・井上遼太・中村安那 ((株)志垣デザイン店)



所在地 熊本県熊本市
用途 住宅
竣工年月 2019年10月

建築主 志垣孝行
設計者 (株)志垣デザイン店
施工者 (有) 藪田建設

一般建築部門 作品賞

MARUHON FUKUOKA 香取武則(香取建築デザイン事務所), 志村美治((株)フィールドフォー・デザインオフィス), 加藤拓((株)マルホン)



所在地 福岡県福岡市
用途 事務所
竣工年月 2019年12月

建築主 (株)マルホン
設計者 香取建築デザイン事務所
施工者 黒木建設(株)福岡支店

<撮影: 後藤晃人>

一般建築部門 作品賞

天草市庁舎 金内信二・田中渉(日建設計)



所在地 熊本県天草市
用途 庁舎
竣工年月 2019年4月

建築主 天草市
設計者 日建設計, TAKT PROJECT
施工者 安藤ハザマ・吉永・中村特定建設工事共同企業体ほか

<撮影: 太田拓実>

JIA 特別賞

蓑帽子の家 小島健治（コーギーリトル）



所在地 大分県由布市
用途 別荘
竣工年月 2019年12月

建築主 小島健治
設計者 小島健治
施工者 ザイツ建築

JIA 特別賞

熊本城特別見学通路 塚川譲・堀駿（(株)日本設計）、若林和之（(株)安藤ハザマ）



所在地 熊本県熊本市
用途 屋外見学通路・事務所・便所
竣工年月 2020年3月

建築主 熊本市
設計者 (株)日本設計
施工者 安藤・間・武末・勝本建設工事共同企業体

<撮影：益永研司写真事務所>

2020 年度 第 14 回「建築九州賞(作品賞)」選考経過について

1. 応募作品

本賞は、過去 5 年間(2015 年 4 月～2020 年 3 月)に九州地方に建設された建築作品を対象に募集を行い、計 81 作品(住宅部門 40 作品、一般建築部門 41 作品)の応募がありました。(なお、応募者は建築学会員に限定せず、建築作品の設計者・建築主・施工者のいずれかであることとしています。)

2. 選考

(1)選考体制： 本賞の選考は、建築九州賞(作品賞)選考部会が行いました。選考部会は総合的な観点から応募作品を評価することを重視し、部会長は常議員会にて九州地方在住の日本建築学会正会員から選出し、また委員は、常議員 1 名、研究委員会(材料・施工委員会、構造委員会、環境工学委員会、建築計画委員会、都市計画委員会、建築歴史・意匠委員会)から各 1 名、(公社)日本建築家協会九州支部及び沖縄支部から各 1 名の計 10 名で構成しています。

<2020 年度作品賞選考部会>

- ・部会長：福田展淳(元常議員)
- ・委員：宮原真美子(常議員) 伊藤藤清(材料・施工委員会) 蜷川利彦(構造委員会)
中大窪千晶(環境工学委員会) 柴田 建(建築計画委員会) 磯田節子(都市計画委員会)
富田英夫(建築歴史・意匠委員会) 西岡 弘(JIA 九州支部) 運天 勲(JIA 沖縄支部)

(2)選考基準： 応募作品について、表彰目的に即した視点(①場所性と環境を反映した建築提案が優れていること、②時代性をふまえた表現力が優れていること、③技術力が優れていること、④地域への貢献および文化度が高いこと)から評価し、本賞の趣旨にふさわしい総合的に優れた作品を作品賞(3 作品)に選び、これに加え、特に地域の建築についての独自の視点や新しい意匠並びに技術の提案が評価される作品を JIA 特別賞(2 作品)に選びました。

(3)選考過程： 第 1 選考、第 2 次選考、第 3 次選考を行って表彰作品を決定しました。

- ①第 1 次選考は、応募書類をもとに選考し、本賞の趣旨に沿う建築提案が明瞭な 33 作品(住宅部門 17 作品、一般建築部門 16 作品)を第 2 次選考対象作品としました。(選考委員 10 名出席)
- ②第 2 次選考は、ZOOM を用いたオンライン選考会(非公開)を行い、建築提案の内容や表現が優れた 12 作品(住宅部門 4 作品、一般建築部門 8 作品)を第 3 次選考対象作品に選出しました。(選考委員 10 名出席)
- ③第 3 次選考では、まず、対象作品の現地調査を各作品につき 2～3 名の選考委員が実施し、作品視察及び応募者・クライアントへのヒアリングを行った上で選考基準に則って調査レポートを作成しました。次に、最終選考会を開き、各作品の調査報告と質疑を行った後に議論し、表彰作品 5 作品(住宅部門作品賞 1 作品、一般建築部門作品賞 2 作品、JIA 特別賞 2 作品)を決定しました。(選考委員 10 名出席)

<2020 年度「作品賞」の募集・選考日程>

- ・2020 年 4 月 30 日(木)： 募集案内開始
- ・2020 年 5 月 7 日(木)～6 月 15 日(月)： 応募書類受付期間
- ・2020 年 6 月 18 日(木)～7 月 3 日(金)： 第 1 次選考(第 2 次選考対象 33 作品を決定)
- ・2020 年 9 月 5 日(土)： 九州建築作品発表会/第 2 次選考会(第 3 次選考対象 12 作品を決定)
- ・2020 年 10 月 31 日(土)～12 月 2 日(水)： 第 3 次選考・現地調査
- ・2021 年 2 月 6 日(土)： 第 3 次選考・最終選考会(表彰 5 作品の決定)
- ・2021 年 5 月 29 日(土)： 表彰式(支部通常総会)

「九州建築選 2020」について

本賞では、九州地方における優れた建築活動を広く伝えるため、応募作品の中から受賞作品を含む第 1 次選考を通過した作品を「九州建築選」として紹介することとし、記録誌「九州建築選」の出版を毎回行っています。

第 14 回では、33 作品(住宅部門 17 作品、一般建築部門 16 作品)を「九州建築選 2020」として記録・紹介することとし、受賞 5 作品を「優秀作品」、他の第 3 次選考対象 7 作品を「佳作作品」、その他の第 2 次選考対象 21 作品を「奨励作品」に位置づけました。

これらの作品を収録した記録誌「九州建築選 2020」を 2021 年 3 月に出版し、県市町村役所(建築関係部署)、県市町村立図書館、県立美術館、高校・専門学校・大学(建築系学科)等、約 650 箇所へ寄贈します。